

ストライクだ！ポウリング



100個以上入った玉入れ



大きな口を開けてパン食い競争



参加者チーム(左)とブルーマリンチームの綱引き



10月4日、岩国総合支援学校グラウンドで「岩国市心身障害者(児)体育大会」が開催され、障害のある人が、競技などを通じてスポーツの楽しさを体験しました。

暑いくらいのよい天気恵まれ、50メートル走、ポウリング、綱引き、玉入れ、パン食い競争などが行われました。

参加者約250人は、笑顔いっぱい各競技に取り組み、応援に来ていた多くの人から「がんばれ、がんばれ」と

心身障害者(児)体育大会

たくさんの声援を受けていました。

ボールを転がして、ピン(ペットボトル)を倒すポウリングでは、見事ストライクを出すと拍手が巻き起こりました。

またボランティアで応援に来ていた海上自衛隊岩国航空基地「ブルーマリン」チームと参加者チームに分かれて行った綱引きの勝負では、参加者チームの勝利に大きな歓声が上がりました。

閩高齢障害課 ☎ 2522

がんばれ、
がんばれ

市政 PICK-UP



▲参加者全員による準備運動

経済活性化、雇用拡大に

9月26日、日の出町の岩国事業所に外科手術の際に使われる止血シートの開発を行う施設を新設する、医薬品事業メーカー「帝人ファーマ」と岩国市が、進出協定を締結しました。

市役所で行われた進出協定書調印式では、押田淳一岩国事業所長と福田良彦市長、立会人の金子政司山口県商工労働部審議監が協定書に署名し、握手を交わしました。

研究・開発施設の建設は、10

進出協定書調印式

月から着工し、来年の秋に完成する予定。東京都から研究員が10人岩国へ異動し、研究補助員として地元から5人程度採用される予定です。

福田市長は「空港開港後は企業7社が進出し、このたび岩国事業所内に研究・開発施設を新設し、雇用も計画されていることは市の経済活性化、雇用拡大につながると期待している」と歓迎の言葉を述べました。

園商工振興課 ☎ 5110



▲右から、握手をする押田事業所長、金子審議監、福田市長



▲協定書に署名する福田市長(左)

「冷たくておいしい！」

9月17日、麻里布小学校で水飲み場の贈呈式が行われました。

水道局では、通水75周年記念事業として、岩国市の水道水が、安心して飲める安全でおいしい水であることをPRするとともに、蛇口の水を直接、飲むことができる水道の歴史と文化を継承するため、市内小学校に「水飲み場」を整備することにした。

5年計画で15校程度に水飲み場を整備する予定で、今年度は、

小学校に水飲み場を整備

夏休み期間中に麻里布小学校、愛宕小学校、灘小学校の3校に設置されました。

高さ約2・5mのアルミ製の屋根の下に設置された水飲み場は、8力所の蛇口から水が飲めるようになっており、児童は「冷たくておいしい」と、喜んで飲んでいました。また夏の熱中症対策として取り付けられたミスト噴霧装置に「気持ちいい」と、

園水道局総務課 ☎ 3711



▲除幕式の様子



▲水飲み場で水を飲む児童